

I. 沿革と概要

1. 沿革

東京大学生産技術研究所は、昭和 24 年 5 月 31 日公布の国立学校設置法に基づき、生産に関する技術的諸問題の科学的総合研究と、研究成果の実用化試験を行なうことを目的として同日付で千葉県千葉市に設置された。

その後、研究所の東京移転が実現し、昭和 37 年度より東京都港区麻布新電土町に本部および各研究部位置を変更した。なお、千葉市には、千葉実験場として 101,487 m² (約 30,700 坪) が同敷地内に設けられた。

部門数は、設立当初 15 部門で、以後昭和 25 年度に 10 部門、26 年度に 10 部門、計 35 部門となり、その後、部門増として、32 年度 1 部門、35 年度 1 部門、36 年度 2 部門、37 年度 2 部門、38 年度 1 部門が認められ、現在 42 部門となっている。

本研究所以次表に示すような 5 部に分かれ、それぞれの部において表示されたような専門分野を担当している。

所長は、瀬藤象二、兼重寛九郎、星合正治、谷 安正、福田武雄、藤高周平に続いて、昭和 39 年 3 月 31 日より岡本舜三が就任している。

第 1 部(基礎)——応用数学・応用光学・音響工学・固体材料学・流体物理学・応用電子学・放射線工学・材料力学・応用弾性学

第 2 部(機械・船舶)——機械力学・機構学・伝熱工学・熱原動機学・流体機械学・化学機械学・切削工作学・非切削工作学・精密加工学・溶接工学・板金および船体構造学・船体運動学

第 3 部(電力・通信)——電気回路学・電力機器学・電力工学・電気制御工学・電子管工学・通信機器学・超短波工学・応用電子工学・超高層観測機器学・超高層電子工学・電子演算工学・マイクロ波工学

第 4 部(化学・冶金)——無機工業化学・応用電気化学および光化学・有機工業化学第一・有機工業化学第二・有機工業化学第三・化学工学・無機工業分析学・有機工業分析学・鉄鋼製錬工学・非鉄金属製錬工学・金属加工学・金属材料学・放射性同位元素工学

第 5 部(土木・建築)——土質工学・土木構造学・交通路工学・水工学・測量学・建築構造学・建築環境学・建築装備学・建築生産学・建築配置および機能学・生産技術史

2. 研究所の位置・敷地・建物・配置図

A. 東京大学生産技術研究所（麻布庁舎）

a. 位 置

東京都港区麻布新亀土町 10 番地

国電信濃町駅下車，都電 33 番線 亀土町下車，西南へ約 100 m.

b. 敷地・建物(面積)・配置図 (凸版参照)

敷地総面積 50,695.157 m²(15,335.285 坪)

(道路 2,504.4628m² を含む，ただし物性研と共用)

建 物 数 本館 1 棟，別棟 11 棟

建物延面積 28,534.7761 m² (8,631 坪，物性研共用分含む)

本 館 26,783.4710 m² (8,102 坪)

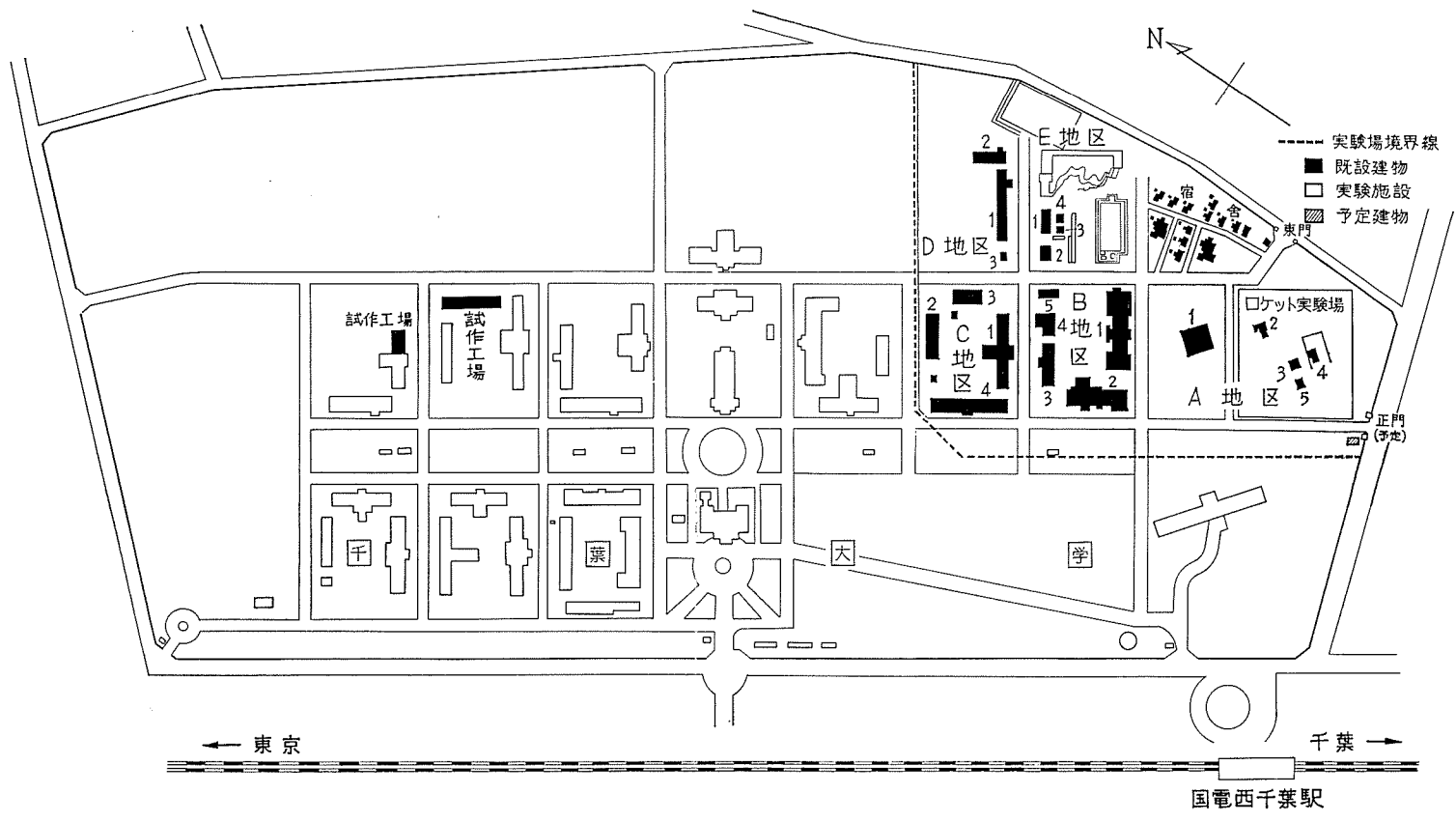
別 棟 1,751.3051 m² (530 坪)

本館面積 26,783.4710 m² のうち，利用面積は 24,403.2599 m² で内訳は次表の通りである (未利用面積 2,380.2111 m² は未改装部分)。

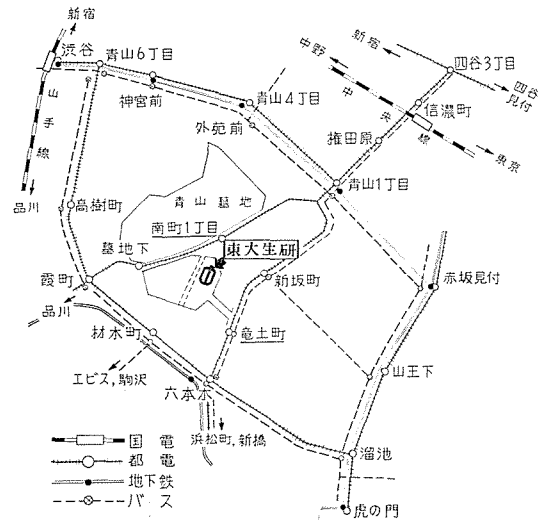
	地階 (m ²)	1 階 (m ²)	2 階 (m ²)	3 階 (m ²)	屋上 (m ²)	計 (m ²)
第 1 部	819.8347	1,880.9917	915.7024	687.6033		4,304.1321
第 2 部	1,990.0826	816.5289	945.4545	928.9256		4,680.9916
第 3 部	390.0826	998.3471	899.1735	641.3223		2,928.9255
第 4 部	515.7024	1,557.0247	1,553.7190	1,200.0000		4,826.4461
第 5 部	1,104.1322	1,047.9338	796.6492	796.6942		3,745.4094
事務部	614.8760	664.4628	1,920.6611	433.0578		3,633.0577
共 通	0	0	0	0	284.2975	284.2975
計	5,434,7105	6,965.2890	7,031.3597	4,687.6032	284.2975	24,403.2599

c. 主な建物とその用途

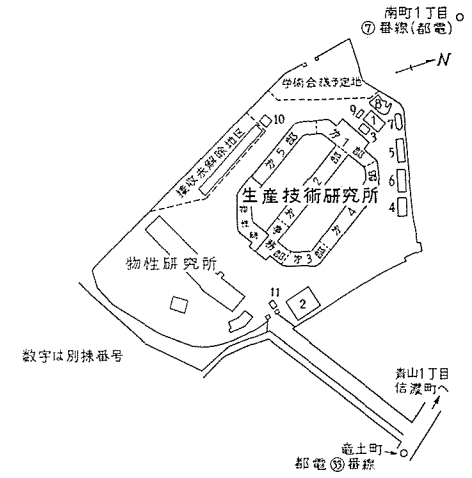
建 物 名	構 造	利用面積 (m ²)	所属部	主 な 用 途
本 館	鉄筋コンクリート 地下 1，地上 3 階	24,403.2599	各 部	所長室，会議室，各部研究室，実験室，居室 事務室，図書室，電話室，受電室等
別 棟 1	鉄筋平屋建	353.7190	第 1 部	材料実験室
” 2	鉄筋コンクリート 平屋建	376.8595	第 2 部	動力実験棟 (自動車，内燃機関，ガスタービン，水力機械)
” 3	鉄骨平家建	142.1487	第 3 部	高電圧実験室
” 4	”	178.5123	第 3 部	暖房実験室，醗酵実験室
” 5	鉄筋コンクリート 平屋建	178.5123	第 4 部	R I 実験室
” 6	ブロック平屋建	112.3966	第 4 部 第 5 部	高圧化学実験室，サッシ実験室
” 7	”	185.1239	第 5 部	音響実験室 (無響室，残響室，測定室)
” 8	”	48.8264	”	送風機室



東京大学生産技術研究所千葉実験場配置図

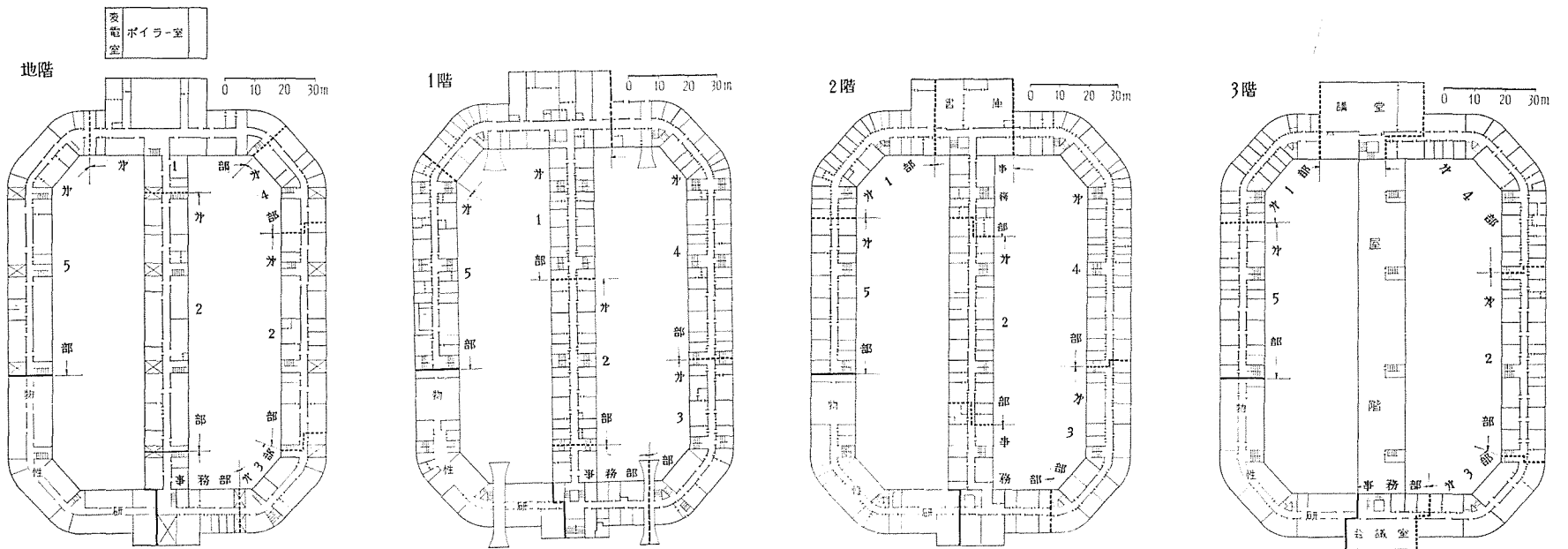


所在地図



配置略図

東京大学生産技術研究所 (麻布庁舎)



各階平面図

建物名	構造	利用面積 (m ²)	所属部	主な用途
9	鉄筋コンクリート平屋建	49.5867	〃	防火実験室(地下)
10	〃	99.1735	〃	床版試験室
11	鉄骨造平屋建	26.4462	事務部	門衛所

試作工場は本所の移転に伴い別棟(鉄骨平屋建 9937.2m²)を予定してあるが、現在米軍の接収解除が未済のため千葉市の旧本所(現千葉大学構内)の在来の位置において作業を行なっている。

d. 水道・電気・ガス・電話

水道は現在都営水道ならびに自家給水を行なっており、使用量は月平均 12,000m³である。

電気は東京電力株式会社と自家用の契約をし第1変電所 400kVA, 第2変電所 500kVA, 屋外変電所 287kVA の設備を有し、各部に送電している。電力使用量は月平均 90,000kWh である。

ガスは東京瓦斯株式会社と契約、消費量月平均 20,000m³ である。

電話は青山局に 36 回線加入し、私設交換装置はA型自動交換機で500回線の容量をもち、物性研究所と共用している。なおそのうち本所は内線 300 回線を使用している。

B. 生産技術研究所千葉実験場

a. 位 置

千葉市弥生町1番地

国電西千葉駅東口下車, 約 30m.

b. 敷地・建物・配置図(凸版参照)

敷地面積 約 101,487m²(約 30.700 坪)

建物数 24 棟. 計 8,928.451m²

c. 主な建物とその用途

下表の通り 21 棟である。

建物所在 地区/番号	構造	延面積 (m ²)	主な用途	旧名称
A 1	鉄骨, スレート・平屋建	476.0330	植村研, 山田研	試験工場
〃 2	鉄筋コンクリート	13.1500	爆発実験装置掩蓋	新 営
〃 3	〃	39.6694	計測室	〃
〃 4	〃	〃	観測ロケット・小型テストスタンド	〃
〃 5	〃	〃	推薬製造室	〃
B 1	木造・二階建	1,289.2561	江上研, 観測ロケット, 山田研, 事務室	東 10 号館
〃 2	〃	1,024.7933	岡本・北川研, 山田研, 丸安研, 三木研, 藤高研	〃 9 〃

建物所在 地区番号	構 造	延 面 積 (m ²)	主 な 用 途	旧 名 称
B	3 木造・平屋建	717.3553	倉 庫	東 8 号館
"	4 木造・二階建	509.0909	福田(義)研, 河添研, 野崎研	" 7 "
"	5 木造・平屋建	191.7355	菊池研, 後藤研, 野崎研	" 11 "
C	1 木造・二階建	120.6615	池辺研, 館研	" 6 "
"	2 木造・平屋建	353.7190	館研	" 4 "
"	3 鉄骨, 鉄筋コンク リート・平屋建	317.3553	"	特殊吹精実 験室
"	4 木造・平屋建	1,213.2231	宿 舎	東 5 号館
D	1 "	641.3223	平尾研, 柴田研	" 13 "
"	2 "	360.3305	平尾研	" 14 "
"	3 鉄骨, スレート・ 平屋建	36.3636	受電室	
E	1 木造・平屋建	191.7355	野崎研, 浅原研, 井口研	" 12 "
"	2 "	128.9256	ポンプ室	
"	3 ブロック造・平 屋建	36.000	野崎研	新 営
"	4 "	60.000	"	"

C. 生産技術研究所秋田実験場

a. 位 置

秋田県由利郡岩城町字道川

b. 敷地・建物

敷地面積 10,148.7603m²

建物数 2棟, 計 82.6446m²

D. 生産技術研究所能代実験場

a. 位 置

秋田県能代市大字浅内字下西山

b. 敷地・建物

敷地面積 3,254.545m²

建物数 1棟, 290.6033m²